

国のはじまり
日本最初の都
奈良県「飛鳥・藤原の宮都」を世界遺産に

奈良県 Narakenn

一般社団法人 奈良県旅行業協会
Tel.0742-20-6430 Fax.0742-26-2490
https://anta-nara.com



奈良大会への意気込み

中島昭人・地元実行委員長(ANTA奈良県支部長)に聞く

奈良県の観光の現状について、中島昭人・地元実行委員長(ANTA奈良県支部長)に聞いた。奈良県の観光における最大の課題は、日帰り客が多く宿泊が乏しいことだ。大阪や京都から近いという利便性が逆に作用し、地域全体にお金が落ちにくい構造になっている。かつては修学旅行への依存度が高かったが、近年は外資系ホテルの進出もあり、多様な旅行者を受け入れる態勢が整いつつある。

奈良の強みは、圧倒的な歴史的遺産の数だ。すでに三つの世界遺産を持つ都道府県になる。日本の歴史の原点をいえるこの地で、その深い魅力を伝えていくことが重要だ。

「その一方で、今回は奈良県で開かれる。奈良の魅力を最大限に生かし、アウトバウンドとインバウンドの両輪で事業を展開していく。その新たなスタート地点として、この大会が盛り込まれている」と中島氏は話す。

「インバウンドの取り込みや地域活性化に必要なのは、産官学が一体となった取り組みだ。この大会が一つの契機となれば、奈良の魅力を最大限に生かし、アウトバウンドとインバウンドの両輪で事業を展開していく。その新たなスタート地点として、この大会が盛り込まれている」と中島氏は話す。

「奈良の強みは、圧倒的な歴史的遺産の数だ。すでに三つの世界遺産を持つ都道府県になる。日本の歴史の原点をいえるこの地で、その深い魅力を伝えていくことが重要だ。」

「その一方で、今回は奈良県で開かれる。奈良の魅力を最大限に生かし、アウトバウンドとインバウンドの両輪で事業を展開していく。その新たなスタート地点として、この大会が盛り込まれている」と中島氏は話す。

奈良も本格的に訪日誘客を住民の「誇り」で地域活性化

「奈良も本格的に訪日誘客を住民の「誇り」で地域活性化」。中島昭人・地元実行委員長(ANTA奈良県支部長)に聞いた。奈良県の観光の現状について、中島昭人・地元実行委員長(ANTA奈良県支部長)に聞いた。奈良県の観光における最大の課題は、日帰り客が多く宿泊が乏しいことだ。大阪や京都から近いという利便性が逆に作用し、地域全体にお金が落ちにくい構造になっている。かつては修学旅行への依存度が高かったが、近年は外資系ホテルの進出もあり、多様な旅行者を受け入れる態勢が整いつつある。

奈良の強みは、圧倒的な歴史的遺産の数だ。すでに三つの世界遺産を持つ都道府県になる。日本の歴史の原点をいえるこの地で、その深い魅力を伝えていくことが重要だ。

「その一方で、今回は奈良県で開かれる。奈良の魅力を最大限に生かし、アウトバウンドとインバウンドの両輪で事業を展開していく。その新たなスタート地点として、この大会が盛り込まれている」と中島氏は話す。

「インバウンドの取り込みや地域活性化に必要なのは、産官学が一体となった取り組みだ。この大会が一つの契機となれば、奈良の魅力を最大限に生かし、アウトバウンドとインバウンドの両輪で事業を展開していく。その新たなスタート地点として、この大会が盛り込まれている」と中島氏は話す。

奈良女子大と産学連携のツアー造成

「奈良女子大と産学連携のツアー造成」。中島昭人・地元実行委員長(ANTA奈良県支部長)に聞いた。奈良県の観光の現状について、中島昭人・地元実行委員長(ANTA奈良県支部長)に聞いた。奈良県の観光における最大の課題は、日帰り客が多く宿泊が乏しいことだ。大阪や京都から近いという利便性が逆に作用し、地域全体にお金が落ちにくい構造になっている。かつては修学旅行への依存度が高かったが、近年は外資系ホテルの進出もあり、多様な旅行者を受け入れる態勢が整いつつある。

奈良の強みは、圧倒的な歴史的遺産の数だ。すでに三つの世界遺産を持つ都道府県になる。日本の歴史の原点をいえるこの地で、その深い魅力を伝えていくことが重要だ。

「その一方で、今回は奈良県で開かれる。奈良の魅力を最大限に生かし、アウトバウンドとインバウンドの両輪で事業を展開していく。その新たなスタート地点として、この大会が盛り込まれている」と中島氏は話す。

「インバウンドの取り込みや地域活性化に必要なのは、産官学が一体となった取り組みだ。この大会が一つの契機となれば、奈良の魅力を最大限に生かし、アウトバウンドとインバウンドの両輪で事業を展開していく。その新たなスタート地点として、この大会が盛り込まれている」と中島氏は話す。

Gコース ～週末、わたしを整える～薬膳×薬草の宇陀デイトリップ

宇陀地域の薬草文化に焦点を当て、心身の健康をテーマとするツアー
出発日：2026年2月12日(木)
旅行代金：大人1人7,000円
定員：15人(最少催行人数は10人)

スケジュール	
9:00	JR奈良駅 出発
9:10	近鉄奈良駅 出発
10:30 ~ 14:00	「宇陀松山」 森野旧薬園、料理旅館 今阪屋、薬の館、松山西口関門
14:20 ~ 14:50	墨坂神社
16:00	JR奈良駅 解散
16:10	近鉄奈良駅 解散

Hコース 昔ながらの茶畑で味わう、奈良のやすらぎ時間

月ヶ瀬・田原地区の特産品である大和茶の魅力体験するツアー
出発日：2026年2月12日(木)
旅行代金：大人1人12,000円
定員：15人(最少催行人数は10人)

スケジュール	
9:00	JR奈良駅 出発
9:10	近鉄奈良駅 出発
9:20 ~ 9:50	称名寺
11:00 ~ 12:30	ロマンピア月ヶ瀬 茶畑見学、利き茶体験
12:40 ~ 13:30	梅の郷月ヶ瀬温泉(昼食)
14:45 ~ 15:45	慈光院
16:30	JR奈良駅 解散
16:40	近鉄奈良駅 解散

日旅とも連携、県内周遊ツアー JRローカル列車を活用 遺跡や食・酒、町家も散策

「日旅とも連携、県内周遊ツアー」。中島昭人・地元実行委員長(ANTA奈良県支部長)に聞いた。奈良県の観光の現状について、中島昭人・地元実行委員長(ANTA奈良県支部長)に聞いた。奈良県の観光における最大の課題は、日帰り客が多く宿泊が乏しいことだ。大阪や京都から近いという利便性が逆に作用し、地域全体にお金が落ちにくい構造になっている。かつては修学旅行への依存度が高かったが、近年は外資系ホテルの進出もあり、多様な旅行者を受け入れる態勢が整いつつある。

奈良の強みは、圧倒的な歴史的遺産の数だ。すでに三つの世界遺産を持つ都道府県になる。日本の歴史の原点をいえるこの地で、その深い魅力を伝えていくことが重要だ。

「その一方で、今回は奈良県で開かれる。奈良の魅力を最大限に生かし、アウトバウンドとインバウンドの両輪で事業を展開していく。その新たなスタート地点として、この大会が盛り込まれている」と中島氏は話す。

「日旅とも連携、県内周遊ツアー」。中島昭人・地元実行委員長(ANTA奈良県支部長)に聞いた。奈良県の観光の現状について、中島昭人・地元実行委員長(ANTA奈良県支部長)に聞いた。奈良県の観光における最大の課題は、日帰り客が多く宿泊が乏しいことだ。大阪や京都から近いという利便性が逆に作用し、地域全体にお金が落ちにくい構造になっている。かつては修学旅行への依存度が高かったが、近年は外資系ホテルの進出もあり、多様な旅行者を受け入れる態勢が整いつつある。



石舞台古墳

「四つ目の世界遺産登録」を目指して。中島昭人・地元実行委員長(ANTA奈良県支部長)に聞いた。奈良県の観光の現状について、中島昭人・地元実行委員長(ANTA奈良県支部長)に聞いた。奈良県の観光における最大の課題は、日帰り客が多く宿泊が乏しいことだ。大阪や京都から近いという利便性が逆に作用し、地域全体にお金が落ちにくい構造になっている。かつては修学旅行への依存度が高かったが、近年は外資系ホテルの進出もあり、多様な旅行者を受け入れる態勢が整いつつある。

奈良の強みは、圧倒的な歴史的遺産の数だ。すでに三つの世界遺産を持つ都道府県になる。日本の歴史の原点をいえるこの地で、その深い魅力を伝えていくことが重要だ。

「その一方で、今回は奈良県で開かれる。奈良の魅力を最大限に生かし、アウトバウンドとインバウンドの両輪で事業を展開していく。その新たなスタート地点として、この大会が盛り込まれている」と中島氏は話す。

建国の地
奈良から
ふたたび

第20回
国内観光活性化フォーラム in なら

開催日：2026.2.11(水・祝) 会場：なら100年会館

主催：ANA 全国旅行業協会
共催：株式会社 全旅 ZENRYO

後援：国土交通省、観光庁、奈良県、奈良市、県内市町村、(公社)日本観光振興協会、(一社)日本旅行業協会、(一社)日本旅館協会、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会